

令和2年度国際学術交流基金助成者による報告

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 頸顎面機能再建学講座
フレディ・マルディヤントロ (Fredy Mardiyantoro)

こんにちは。私の名前はフレディ・マルディヤントロです。私は、インドネシアのブラウイジャヤ大学の講師で、口腔顎面外科医でもあります。

最初に、日本歯科医師会に感謝の言葉を述べたいと思います。日本歯科医師会の奨学金を受けることができたことに感謝しています。日本歯科医師会の国際科学交流基金のフェローシップのおかげで、経済的な心配をすることなく、日本での研究に専念する機会を与えていただきました。私は、2019年10月に来日し、翌年4月に鹿児島大学大学院口腔顎面外科学分野の博士過程に入学しました。この奨学金は、特に日本での勉強と生活に適応するための最初の年に、私にとって大きな助けとなりました。

インドネシアでは、私は臨床の現場で働いていますが、鹿児島大学で骨再生の基礎研究を行い、インドネシアでの研究活動に役立てたいと考えています。口腔顎面外科学の中村典史教授と口腔生化学分野の松口徹也教授の指導により、生体分子解析、特に骨再生分野の知識と技術を高めるための大きなチャンスをいただきました。インドネシアでは、そうした研究を行うには設備的に多くの制限がありますが、鹿児島大学では、高度な技術を使って研究することができました。この1年間、多くの実験を行いましたが、うまくいくときもあれば、全くうまくいかないときもありました。研究とは結果を出すことだけではなく、失敗から学ぶために問題点を見つけ出すことだと理解しました。海外留学は、知識を得たり、考え方や生き方向上させるすばらしい経験ができると思います。

去年、鹿児島大学の先生がブラウイジャヤ大学のメンバーのために講義をしてくださいました。また今年は、ブラウイジャヤ大学の私と鹿児島大学の先生と共に

同で論文を執筆し、国際的なジャーナルに掲載されました。博士課程2年目の今年は、最新の実験データに基づいて、いくつかの学会に口頭発表者として参加し、国際的なジャーナルに投稿するための科学論文を書き始める予定です。このまま順調に博士課程を修了し、歯科医学の発展に貢献したいと思っています。

日本に来てから、私は日本が大好きになりました。日本には魅力的な文化があり、伝統的な建物や歴史的な場所がたくさんあるので、それらを発見したいと思っています。最後に、改めて日本歯科医師会の皆様に感謝いたします。この奨学金は非常に寛大で、留学生を経済的な心配から救ってくれます。日本歯科医師会の皆様のご健勝とご活躍をお祈りするとともに、皆様にお会いして感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。



図 鹿児島大学口腔顎面外科学分野の海外からの留学生4名（右端が筆者）と中村教授（中央）